勝川議員の

代表質問(11/29)

勝川議員 代表質問 (録画)



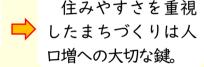


①市民満足度をあげる政策を中心にすえ 持続可能なまちづくりを

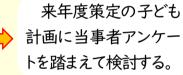
🥮 勝川議員の質問

市長・部長の答弁

住民満足度を上げる 事が人口流入を促す。



子育て支援を核にす えて子育て支援予算 の拡充を。



保育・教育の無償化の拡大 自己責任論でなくすべての子 育て世代に社会の責任で子育 て支援を。議会のアンケート なども参考にニーズ把握を。

保育料の軽減 に 1.5 億円を出 すなどしている。 来年の計画策定 の中で検討する。

どこにで も住み続け られる公共 交通計画で 移動の権利 保障を。

将来的にはドアツードアの移 動手段への転換が必要になると 考えている。既存公共交通との 共存を図りながら交通弱者に配 慮するドアツードア型交通体系 の導入を検討する。

住み続けられるまち づくりの観点で公共施 設マネジメントの見直 しを。

原野谷では今地域 振興やまちづくりも含 めて学校再編の検討を していく。

②ごみの減量化に真剣に取組む姿勢が環境の持続性をつくる

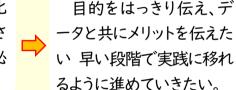
| 勝川議員の質問 |

ごみの外部搬 出というピンチを ごみ問題を学ぶ チャンスに 施設 見学や学びの場 を市民や子ども たちに。

市長・部長の答弁

おむつリサイクル・ごみ減量推進会議での議論を踏ま え、新たな分別さらなる減量施策を展開していきたい。も はや電気やガスが安く使えて CO2 をただで出せる時代 は終わったと言う認識に立ち、市民の消費スタイルや事 業者の生産活動、意識変革にもとづく行動変容につなが る施策のギアアップを図る おむつリサイクルは意識の 高い若い世代への共感を呼ぶと思う。

市役所を手始めにごみの組成調査や減量化 作戦を 市役所が率先していくことが重要。かさ ばる紙おむつや水分ばかりの生ごみ、燃やす必 要のない落葉や剪定枝などに早く対策を。



学校を環境教育の場と して条例も活用を。



9日はもったいないの日として、市民団体や企 業ともタイアップして条例の目標達成に取り組む。

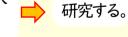
無償化政策とセットで学校給 食に地場農産物、有機食材を取り 入れて地元の農業オーガニック ビレッジ官言の後押しを。



財源確保が難しい 学校給食に、有 機米が今年度 | 回、来年は3回程度、 有機茶が今年小 | 回、来年小中2回を 計画している。

牛乳のストローレス化、ソーラーパネルの拡大 など環境意識の変革を学校から

維持管理費(公園・道路・河川の法面など)



草刈り業務員の 増員を検討する。

③広域行政にも自治体の責任を

(勝川議員の質問)

市長・部長の答弁

企業団であり、運

中東遠総合医 療センター、環境 資源ギャラリー(ご み処理施設)始め 広域で行なってい る事業も市の責任 ある関与が必要。 中東遠の医師 の逮捕事件なども あったが、対応が 遅く、市としての責 任ある対応がされ ていないのでは。

営責任は企業長が 負う事になっている。 今回初のケースで不 慣れと言うこともあっ たかと思う。適切な 再発防止策をとって いきたい。これまで 以上に市の保健医 療政策や市民要望 等に対する意見交換 を行ない市の責任を 果たしていく。

ごみ処理は自 治体の大切な役 目。市のごみ減 🖒 量化政策が反映 できるように。

市民の安全安心と安定 したごみ処理の確保など 重要な意志決定は掛川 市、菊川市が十分な関与 や提案を行なっている。

どこに住んでいても、お金の有る無しにかかわ らず、子どもも子育て世代も高齢者も住みやすさ を感じる事ができるまちづくり、視線の先にちゃ んと市民がいる市政運営を期待する。

かさばる紙おむつ

の維持管理予算の増額を。







(単位・十円)		(単位・円)
年度	ごみ処理費用	1人当たりのごみ処理費用
H30	654, 457	5. 550
R1	664, 314	5. 633
R2	940, 799	8. 029
R3	1, 342, 064	11.513
R4	1, 517, 623	13. 093

掛川市一般廃棄物処理基本計画(案)より

ごみ処理費用